



ほっとねっと通信



住所: 栃木県那須塩原市東原3-1488 TEL: 090-9230-8755
 HP: <http://hottonetto.com/> Eメール: hotnet@tbz.t-com.ne.jp

第 19 号 令和 5 年・5 月発行



冬から春、春から夏へと季節が進むにつれ、少しずつもの日常を取り戻しつつあることを感じます。穏やかな生活がこのまま続していくことを心から願っています。皆様にはさまざまな制限があるなか、たくさんのご協力をいただき本当にありがとうございました。

昨年度は、「産前からの切れ目のない支援～妊娠中から地域とつながりがもてるように～」を法人の活動テーマに掲げ、1年間活動しました。子育てほっとねっとの子育て支援は、これまで子どもが生まれたところからスタートしていましたが、安心してよりよい子育て生活を始めることができるようにするためには、もっと早く、妊娠中からのサポートが必要だと強く感じるようになったからです。まずは、ファミリーサポートセンター「ま～る」「ほっぺ」の2つのつどいの広場、家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」など既存の事業のなかで、これから赤ちゃんを迎える家庭に向けてできることは何かを考え、活動の幅を広げました。それに加え昨年度は、「みんなのテーブル2」「産前支援」「講演会（映画上映会）」「パンフレット」の4つのチームにスタッフが分かれ、テーマのもとに活動をしました。手探りでの1年間ではありましたが、今後にむけての種まきはできたのではと思っています。今年度は今回播いた種を育てる1年にしていきたいと考えています。

子育て真っ最中のお母さんたちの大きな協力を得て、子育て情報リーフレット「めでる」が4月にできあがりました。子どもを愛（め）でる、自分を愛（め）でる、芽が出る（めでる）出会い。紙媒体+SNSのハイブリッドでの子育て情報の発信に挑戦していきます。

NPO 法人子育てほっとねっと 理事長 西田由記子



和室でワイワイの上映会



ゆっくり静かに鑑賞



子育て情報リーフレット「めでる」

～NPO 法人「子育てほっとねっと」会員募集中～

当法人の目的に賛同し、活動を支えてくださる（個人・団体）を募集しています。

年会費

正会員 2,000 円

ささえ会員 1,000 円（1 口）



ゆうちょ銀行 当座番号： 00290-2-141557
 名義：特定非営利活動法人子育てほっとねっと

寄附によるご支援も受け付けています。



土曜日開催が2回になりました

ま～るは市の再委託が決まり、今年の4月からも運営を続けていくことになりました。安心して親子が集える場所としてこれからも様々な環境づくりに力を入れていきたいと思っています。環境整備として、手洗い場の増設、授乳室・オムツ替えコーナーの改装を行いました。

令和4年度は253日開催し、2,227組(大人2,257人、子ども2,628人)の利用がありました。人数制限があったにもかかわらずコロナ前と同じくらいの利用がありました。今年度からはコロナ対策も各所の判断となり人数制限も少しずつ緩和し、今までできなかった行事もやっていく予定です。開催内容も変更し、平日の開始時間・終了時間をそれぞれ30分延ばしました。利用者の幅が広がり多くの方に来てもらえることを期待しています。プレママプレパパも参加しやすくなるように、赤ちゃんの日を月4回、土曜日開催を月2回に増やしました。



ま～るの様子

4月からはスタッフも新しく2名加わり、新たにスタートしています。



ま～るスタッフ：高根澤、後藤、沢登、手塚、有馬、石井



本来の姿を取り戻しつつあります

ほっぺは、長く続いた利用者数の制限を5月8日から外すことを決め、「いつでも、気軽に」行くことができるというひろば本来の姿を取り戻しつつあります。散歩のついでに、買い物の帰りに、ちょうどお昼寝から目が覚めたから、家にいると何だかぐずぐず機嫌が悪いから……子どもとの生活の中で、行きたいと思った時にすぐ行ける場でありたいです。

昨年度は、9月に赤ちゃんのいる家族とこれから赤ちゃんを迎えるプレママ・プレパパのためのOPEN DAYを開き、一緒に手縫いでスタイルづくりをしました。手を動かしながら先輩ママの話に耳を向けていたプレママさんたちが、年が明けて、生まれた赤ちゃんを連れてほっぺに来てくれたときはとてもうれしかったです。また、6月から月1回おもちゃ修理のボランティアさんによるおもちゃクリニックが開かれ、壊れて動かなくなっていたおもちゃを丁寧に心を込めて直してくださいとも好評です。

ほっぺスタッフ：西田、星、八木沢、川島、石川



ある日のおもちゃクリニック



子どもたちの作品…なかなかです(^^♪

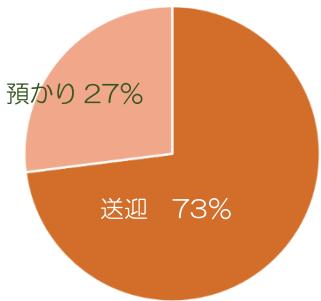
ファミリーサポートセンター

サポート会員さんに感謝



ファミリーサポートセンター、12年目の春を迎えました。また、センターが厚崎公民館内に移転し2年目になります。今年度も受託させていただき、活動に信頼いただけているように感じています。現在は送迎が70%を超えるサポート内容になっており開設当初とはずいぶん変わってきています。送迎、預りサポートが無事故で活動できているのはサポート会員さんあってのこと、感謝しています。預りサポートでは、お子さんの出生時に市から配られる「子育て応援券」利用が増えており、ファミサポを選択いただけ嬉しく思っています。まだまだファミサポを知らない方が多数いらっしゃるのが現状です。SNS等を通してアピールしていきたいと思います。

また本年はサポート会員さん大募集します。お近くに適任の方はいらっしゃいませんか?ぜひご紹介ください。よろしくお願ひいたします。今年度も引き続きアドバイザー5名で運営させていただきます。お世話になります(^♪ アドバイザー:久保・熊久保・菊地・金光・武居



2022年度サポート内訳



貸出し用のおもちゃ



ステップアップ研修の様子

ホームスタート

関東エリア協議会開催されます



2月22日と3月22日にホームビジターのオンライン学習会を知音食堂で開催しました。東京大学名誉教授の汐見稔幸先生の「地縁・血縁に替わる新たなつながりを~アウトリーチ支援の需要と課題~」という講座を8名のビジターさんと一緒に視聴しました。昔は自然とできていた「やりくり力」を地縁力、血縁力の中で育っていくことが大事だとう、とても良いお話しでした。ホームスタートの役割を改めて確認できたような気がします。令和4年度、ホームスタートの活動は、利用家庭件数17件、訪問回数94回でした。ビジターさんのご協力のもと、利用家庭に少しでもほっとできる時間を届けることができました。

7月8日、9日でHS関東エリア協議会のオーガナイザー交流研修会が開催されます。今回最後となる関東エリアの研修会の幹事ということで、その準備を進めています。8日は公開講座となります。子育て支援に関わっている方のご参加をお待ちしています。



オンライン学習会

7月8日(土) 13:30~

・行政説明:那須塩原市の子育て発達支援システムについて

那須塩原市子育て相談課

・講演:子育てに困り感を持つ親にどう寄り添えるのか

国際医療福祉大学クリニック 小児精神衛生相談室

臨床心理士・公認心理師 小林順子先生

オーガナイザー:高根澤、磯

集団託児

定期の依頼を受けています。

集団託児は本年度も定期の依頼を受けることが決まりました！本年度は、新たな担当メンバーで安心・安全を第一に活動してまいります。昨年度は、計12回、のべ33人の託児を行いました。お子さんが楽しい時間を過ごしているのはもちろんのこと、お母さん一人一人ともお話しできる時間もあり、地域の子育て情報をお伝えして大変喜ばれています。泣いて預けたお子さんの楽しく遊んでいる姿をカメラに収め、お迎えに来た時に託児中の様子として見ていただくことで、

お母さん方に安堵の表情が見られました。

いつも快く託児スタッフに入って下さる方々には感謝の気持ちでいっぱいです。皆さまのお陰で活動を続けることが出来ています。

今後もよろしくお願いいいたします。

武居



ファミサボの交流会での
集団託児の様子

みんなのテーブル2

みんなのテーブル2は、昨年度12回開催し、のべ97組（大人115人、子ども132人）の参加がありました。今年4月から、長くお世話になった知音食堂から市民活動センターへと場所を移し、開催日も毎月第3土曜日から第2土曜日へと変更して再出発しました。移転後最初の4月は、みんな来てくれるかなとドキドキしましたが、とてもにぎやかな時間となりました。いつもの乳幼児だけでなく、小学生から高校生までの大きな子どもたちの参加もあり、大きい子どもたちもボードゲームで盛り上がっていました。大人も子どもも幅広い年齢の人たちにとって、ゆったりと過ごせる居心地のいい場になっていくかと思います。ケヤキやトチの木が木陰をつくる、外も気持ちがいい環境なので、この場所ならではのできることを考えていきたいです。



市民活動センターでのみんなのテーブル2の様子



遊びのコーナー



ボードゲーム



- 法人への寄付(12月～3月)
67,429円
- 資源回収（段ボール・アルミニウム缶・新聞）
10,865円

回収スペースの都合上、ただ今資源回収を一時お休みしています。新たな回収方法が決まりましたらお知らせします。皆さまのご協力に感謝いたします。

編集後記：4月は朝の冷え込みで霜注意報が何度も出されました、温暖化の影響で梅や、果実の影響が心配されます。少しでも地球にやさしく過ごせるように、微力努力していきたいです。熊久保